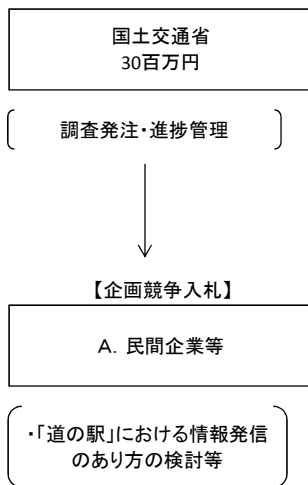


平成27年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名		大学と連携した「道の駅」の情報提供のあり方に関する調査		担当部局	道路局		作成責任者			
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成29年度	担当課室	国道・防災課		課長 川崎 茂信			
会計区分	一般会計			政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通の安全性を確保・向上する					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—			関係する計画、 通知等	—					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	「道の駅」における情報提供のコンテンツは、専用端末による提供やパンフレットが主体であり、必ずしも時代に沿った情報発信とはなっていないことから、「道の駅」と大学との連携の取り組みを活用し、次世代の「道の駅」に対するニーズ調査を行い、「道の駅」における情報発信のあり方の検討を行うものである。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	「道の駅」と大学との連携の取り組みを活用し、「道の駅」と大学との企画連携、就労体験の支援や、大学生との企画連携、就労体験を通じて得られる次世代の「道の駅」に対するニーズ調査、若者の視点からのアイデアの募集、若者のITスキルを活用した情報提供のニーズ調査等を行うものである。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算 の状 況	当初予算	-	-	-	-	30			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		0	0	0	0	30			
	執行額		-	-	-	-				
執行率 (%)		-	-	-	-					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 30年度	
	情報提供の方法を変更した「道の駅」数を平成30年度末までに100とする		情報提供の方法を変更した「道の駅」数		成果実績	駅数	-	-	-	-
					目標値	駅数	-	-	-	100
					達成度	%	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	「道の駅」における情報提供のあり方の策定			活動実績	件数	-	-	-	-	
				当初見込み	件数	-	-	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	-			単位当たり コスト	-	-	-	-	-	
				計算式	-	-	-	-	-	
平成 27・ 28 年度 予算 内訳 (単 位: 百万 円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	道路交通安全対策費		-	30	「新しい日本のための優先課題推進枠」30					
	計		0	30						

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供に寄与。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	情報提供のあり方についての統一的な機能強化方を国が策定し、「道の駅」の施策としてのあり方を示す必要	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供に寄与する事業として必要かつ優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は企画競争により選定予定。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	類似業務によりコスト水準の妥当性を確認予定。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	業務目的に即した仕様に基づき適正に執行予定。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	国が統一的な情報提供のあり方を検討することにより効率化を図る予定。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	当該予算の執行は国土交通省で実施予定であり、全ての支出先を把握可能。また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である有識者委員会にて審議予定。			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
検討結果を「道の駅」における情報提供手法の改善等に有効に活用し、地域活性化策としての「道の駅」の活用のための効果的な施策として、効率的に執行できるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度		平成23年度		平成24年度	
平成25年度		平成26年度			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



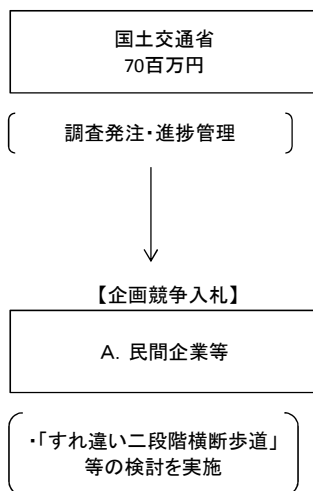
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

平成27年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	歩行者自転車中心の道路空間構築のための基準等検討経費			担当部局	道路局		作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	担当課室	環境安全課 道路交通安全対策室		室長 酒井 洋一	
会計区分	一般会計			政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通の安全性を確保・向上する			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通事故死者数の約半数は65歳以上の高齢者であり、致死率は他の年齢層に比べ約6倍も高く、また高齢者人口は今後増加の一途をたどることからも、高齢者の死亡事故を抑止することは喫緊の課題となっている。このような状況の中、高齢者の交通事故の抑止効果が期待される「すれ違い二段階横断歩道」などについて検討を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「すれ違い二段階横断歩道」などについて、以下のような検討を行う。 1. 高齢者事故等の原因分析 2. 事例収集・現状整理 3. 実証実験等の実施 4. 基準化等の検討							
実施方法	委託・請負							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	0	0	70
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率 (%)	-	-	-	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 31 年度
	平成31年度までに地方公共団体に対して基準等を周知する	地方公共団体に対する基準の周知	成果実績	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	基準等の整備	活動実績	-	-	-	-		
		当初見込み	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	-	単位当たりコスト	-	-	-	-		
		計算式	-	-	-	-		
平成27-28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	道路交通安全対策費	-	70					
	計	0	70					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費 要投入 の必	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	高齢者の安全性の確保・向上に寄与。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	技術的知見の少ない「すれ違い二段階横断歩道」等の統一的な基準策定に向けた検討を行うため、国による実施が	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	高齢者の交通事故の抑止効果が期待される事業として必要かつ優先度が高い。	
事業 の効 率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	入札及び契約内容については、第三者機関により審議頂く予定。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	類似業務によりコスト水準の妥当性を確認予定。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した仕様に基づき適正に執行予定。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業 の有 効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	基準の未整備等により導入が進まない「すれ違い二段階横断歩道」等について、国が統一的な基準の整備を前提とした検討を行う予定。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
関 連 事 業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	当該予算の執行は国土交通省で実施予定であり、全ての支出先を把握可能。 また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である有識者委員会にて審議予定。			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
検討結果を歩行者自転車に優しい道路空間づくりに有効に活用し、道路交通安全対策等のための効果的な施策として、効率的に執行できるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)